



## ◆地震津波防災訓練実施◆

### －避難場所と避難経路の再確認－

校舎が損壊し、本館4階及び屋上への避難が困難であることを想定した避難訓練を7月7日に実施しました。5限終了後、地震津波緊急放送が校内に響きわたると、全校生徒が一斉にグラウンドに避難しました。点呼完了タイムは4分40秒でした。大西校長の講話の後、各クラス代表生徒（中央委員1名）と担任が、本年度から一次避難場所に指定された「ゆあさこども園」まで経路確認のため移動しました。地域指定の新避難場所である「ゆあさこども園」までの移動時間は約11分でした。「南海トラフ大地震」に備え、一人一人が命を守る行動ができ、臨機応変に対応できるよう今後も各種防災訓練に取り組んでいきます。



## ◆1学年マラソン学習会◆

### －自学自習の習慣をつけて夏休みへー

7/20(火)・21(水)の日程でマラソン学習会を実施しました。この取組では、普段の授業とは違い、自習形式で各自が1コマ65分の中で取り組む内容を計画し、実践します。生徒たちは、1学期の復習や夏休みの課題に集中して取り組み、良い形で夏休みのスタートを切ることができました。参加者の感想には、「とても静かな環境で勉強ができて良かった」「自分の弱点である集中力が続かないところを少し直せた」「ものすごく疲れたので、普段の学習時間が足りていないと感じた。」などがあり、充実感と同時にこれからの改善点にも目を向けていました。参加者33名の中には、2日間のべ10時間を超える学習を達成した生徒もあり、この取組を継続し、夏休みは計画的な学習を実践してくれることを期待しています。



## ◆剣道部インターハイ出場！◆

### －耐久高校女子としては40年ぶり－



昨年の総体が中止となったため、令和3年和歌山県高校総体は、例年以上に思い入れの強い大会となりました。結果、団体戦は男女ともに3位。男子個人は、榎本千洋（2年）が5位。女子個人は、大上夏子（2年）が準優勝、竹井愛美（1年）が4位。

大上夏子（2年）が、耐久高校女子としては40年ぶりのインターハイ出場、加えて、男女団体とも近畿大会出場。日頃の稽古の成果を十分に発揮し、今ある力を出し切りました。全国総体は8月9日～12日に石川県で開催されます。今後は、男女ともに県大会優勝を達成するため、日頃の稽古に邁進していきます。

## ◆和歌山大学説明会を開催◆

和歌山大学説明会を7月2日（金）に開催しました。3年生33名、2年生17名、1年生13名の計63名が参加しました。入試制度の説明では、一般入試、学校推薦型入試、総合選抜型入試について、教育・経済・システム工学・観光の4学部すべてにわたり丁寧な説明がありました。3年生にとっては、入試形態や大学生活等の説明を受け、和歌山大学をより身近に感じ、進学に向けた学習意欲が十分に向上したと考えます。2年生についても、説明会后、オープンキャンパスへの申込が増え、進学意欲が確実に上がったことが分かりました。また、1年生にとっても、幅広い入試形態があることを学ぶ機会になりました。今回の説明会は、各学年ともに進学意欲を確かなものとし、今後の高校生活を一層充実させてくれる内容となりました。



